

環境負荷軽減を目指した「つや姫」栽培

東北農林専門職大学附属農林大学校 稲作経営学科 水野翔太

【目的】

近年、猛暑等により米の収量・品質等が低下し、農業経営にも影響を与えている。本試験では、窒素施肥に頼らない「つや姫」の安定栽培を目指し、農業経営と環境負荷低減の両立を目指す。

【試験方法】

- ①根から吸収させる新しいタイプのバイオスティミュラント資材を活用し、収量に与える影響を調査する。
- ②亜リン酸肥料の葉面散布による収量及び品質に与える影響を調査する。



図1 移植作業(5月17日)



試験区の準備

表1

区の構成	収量対比
無処理区(慣行区)	100
亜リン酸肥料のみ	104
BS資材のみ	112
亜リン酸+BS資材	114

【結果と考察】

無処理区と比較すると、各資材使用区は収量が向上し、窒素施肥に頼らない(環境に配慮した)安定栽培が可能であることが示された。